

令和3年度事業報告

事業の概要

定款第3条の目的である「学術研究の助成及び知識の普及を図る」ため、下記諸事業を行った。

1. 研究等助成事業（定款第4条第1号）

(1) 海外渡航費（オンライン参加費） 2件 72,664円

「生命科学分野における遺伝学に関する基礎的、学際的研究及び関連する諸技術等の研究」のため海外渡航費助成の公募を別紙募集要項により行い、選考委員の選考結果に基づく審査により、別紙のとおり海外渡航費（オンライン参加費）の助成を行った。

2. 講演・講習会等開催事業（定款第4条第2号）

(1) 三島市と遺伝学普及会は連携協定締結事業として下記の講座を開催した。

①「遺伝学講座・みしま」：コロナの影響で、現地開催が急遽中止となったため、2月～3月の期間限定での録画配信。

講師：花岡 文雄 「DNA修復とがん」
長谷川政美 「鳥の進化 よもやま話」

②「子ども向け遺伝学講座」：7月30日開催

講師：中島 一豪 「身近にいる昆虫、いなくなる昆虫～昆虫はどんな世界で生きているのか～」
市内の小学生38名（応募者66名）が参加しました。

(2) サイエンスカフェ「寺deサイエンス」を、12月に蓮馨寺にて開催した。

講師：小林 武彦「生物はどうして死ぬのか？」
五條堀 孝「新型コロナウイルスの変異株と進化」

鼎談：斎藤成也×小林武彦×五條堀孝

Zoom 参加187名、現地参加30名

3. 遺伝学に関する知識の普及と向上をはかるための事業（定款第4条第3号）

(1) 雑誌「遺伝」編集委員会において、雑誌「生物の科学「遺伝」」の編集を行い、隔月6冊を株式会社エヌ・ティー・エスより下記のとおり発行した。

「生物の科学「遺伝」」

2021年 5月号 特集「お酒の生物学 [日本編]」他

2021年 7月号 特集「海棲哺乳類の行動学-フィールドワークの現場から-」他

2021年 9月号 特集「ハシビロコウの生物学と保全」他

2021年11月号 特集「理研バイオリソース研究センター20年の歩み」他

2022年 1月号 特集「進化の制約と方向性」他

2022年 3月号 特集「チョウ類の多様性とその保全」他

(2) 国立遺伝学研究所の協力により、(株)エフエムみしま・かんなみにおいて普及会放送事業サイエンスNOWを実地した。

4. 遺伝学に関する教育資料の頒布事業（定款第4条第4号）

教育研究資料の頒布等を下記のとおり実施した。

・冊子	「遺伝研のさくら」5版	25冊
・絵葉書	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕	1部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅲ〕	1部
	「国立遺伝学研究所の桜」〔Ⅱ〕 + 〔Ⅲ〕	2部

・桜ストラップ	3個
・桜キーホルダー（半兵衛）	1個
・LED付さくらキーホルダー	11個
・さくらマグネット	2個

5. 動植物に関する優良品種の普及事業（定款第4条第5号）

(1) 変化アサガオの種子及び絵葉書「国立遺伝学研究所のアサガオ」の頒布を行った。

・変化アサガオの種子	2376袋
・変化アサガオ絵葉書	3部

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第4条第6号）

(1) 国立遺伝学研究所の委託を受けて桜樹木維持管理及び接木事業を行った。

そ の 他

1. 維持会員

法人の目的を達成し、健全な事業活動を維持するために必要な財政基盤を増大するために維持会員の募集を行った。

令和4年3月31日 団体会員 9社 11口 個人会員 5名 13口

2. 遺伝学振興基金

令和3年度中にはありません。

3. 寄附金

(1) 令和4年2月に奈良真二様より一般寄付金として3万円の寄付があった。

※所属研究団体日本遺伝学会の事業報告書を添付書類としてつける・・・・・・・・・・別添資料I